

生活教養科 1年 手作りエプロンを寄贈しました

生活教養科では温かい心づかいの一貫として、本校創立者須賀栄子先生のご命日（10月14日）に、毎年、宇都宮市役所を通して保育所・福祉施設への子ども用エプロン寄贈を行っています。

今年も心をこめて作った子ども用エプロン80枚を、宇都宮市子ども部へ届けました。この取り組みは今年で35年目となり、これまでに寄贈したエプロンは計4,236枚となりました。

市の保育園では、園児が実際にエプロンを身に付けて給食の配膳をしたり、おままごとをしているようです。一生懸命作ったエプロンが役に立ち、子どもたちを笑顔にできることはとても嬉しく、私たちがさらに頑張ろうという励みになりました。



1年生の代表が、宇都宮市の高野 裕之子ども部長に届けました。

寄贈したエプロンは、子どもたちに喜んでもらえるような生地を選び、丁寧に縫い上げました。

